

例会山行

山の日企画：ハツ淵の滝

とき 2017年8月11日(金) 山の日

天候 曇り 時々晴れ、小雨 メンバー8名(男性：5名 女性：3名)

コース ガリバー村ー登山口ー障子ヶ淵ー大搦鉢ー広谷ーイブルキのコバー八雲ヶ原ー金糞峠ー大山口ー比良イン谷口

< コースタイム >

9:35 ガリバー村

10:05 登山口

10:36 障子ヶ淵

11:05 大搦鉢

12:43 広谷

12:53 イブルキのコバ

13:15 八雲ヶ原

14:06 金糞峠

15:10 大山口

15:47 比良イン谷口(バス停)

< 活動記録 >

山の日に行う例会として、ハツ淵の滝へ行くことに。JR 尼崎7時37分発の電車にて5名集合、同列車に大阪駅より3名集合。近江高島まで行き、そこからバスでガリバー村へ。ガリバー村内にある登山口からいよいよハツ淵の滝へ歩を進める。水量が想定以上に多い。障子ヶ淵へ行く途中、ふくらはぎまで水につからないと渡渉できず、湿った岩をほぼ直登、トラバース。メンバーの頭の中には恐怖の文字が浮かぶ。そして障子ヶ淵では恐怖感がMAXに。何とか大搦鉢に到着したが、それ以上行くのは危険。ルート変更を行い、山道に入り、当初予定していなかった広谷経由で八雲ヶ原へ向かうことにした。ハツ淵の滝を最後まで行けなかったのは残念だが、少しでも不安があれば、ヘルメット・セルフビレイの準備はしておいた方が無難。想定外に対する備えが必要だと勉強になった一日だった。



1.ガリバー村内の案内図。



2.ガリバー村内の登山口に到着。
ハツ淵の滝へ向うよ。



3.沢筋まで降りてきました。
意外と水量が多いぞ??



4.いざ出陣だ！と思いきや初心者は引き返せって・・・



5.最初の渡渉。この辺りまでは意気揚々としてる。



6.ここに行くの？右横に鎖がぶら下がっている。。



7.最初の鎖場を登る。足元に気を付けて



8.支点と支点の間は一人ずつが鉄則。注意しないと事故に。



9.ゆっくり、焦らず。この辺りから、恐怖感と緊張感が支配。



10.前に行く人はすいすいと行きます。



11.じわじわと襲い掛かる恐怖心。



12.障子ヶ淵に到着。向こう岸に渡って、岩を直登？



13.まずは渡りましょう。
再び、水に浸かる。。



14.もう少し、頑張れえ！



15.後は梯子です。気を抜かずに。



16.大摺鉢では泳ぐ人も。



17.私たちはその横をまた足を水に浸けて、渡渉。



18.なんて書いているのか不明。
大摺鉢の有名ポイント。



19.スマフォカメラが曇った？
大摺鉢を背景に。



20.回れば良いのに、渡ります。
見ている方が怖いですが？



21.八雲ヶ原湿原に到着しました。



22.足元は抜けてしまいそうな音がしてますが？先に進めず。



23.小雨が降りはじめ、傘も登場しております。



24.いくつめの橋なんだるか。数えておけばよかった。



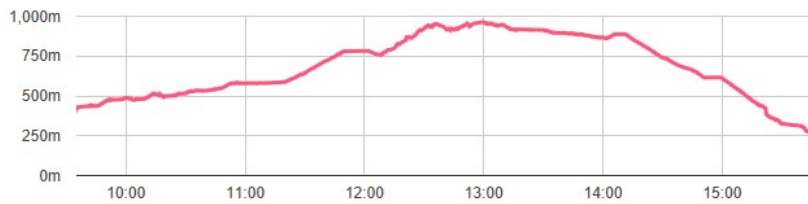
25.金糞峠から下山方向。急なガレ場。足元注意。



26.通称青ガレが終了。



27.本日のゴールです。



距離		時間		日時	
🕒 活動時間	6時間12分	📍 スタート	09:35		
📏 活動距離	9.50km	↓	4時間29分		
↕ 高低差	717m	📍 金糞峠	14:04 - 14:15 (11分)		
↗ 累積標高上り/下り	792m / 974m	↓	1時間32分		
		📍 ゴール	15:47		

